

七色花

廿日市市異文化交流会

2月5日(火)広島県の帰国者が廿日市市にあるメンズクッキングクラブのメンバーと異文化交流会を開催しました。年に一度の交流会で、今年で5回目となりました。料理に興味のあるクラブだけあって、味付けについて質問したり、調理の分担やコツを聞いたり、積極的に話しかけてくださいました。言葉の壁があっても、身振り手振りを交えて交流を楽しんでいました。



就職講座



2月13日(水)帰国者の2・3世向けに就職講座を開催しました。前半は履歴書の書き方や印象をよくする面接の受け方など、求職活動時や職場で役立つ身だしなみや立ち居振る舞いの基本を学ぶことができました。後半は社会人にふさわしいメイクについて紹介されました。参加者がモデルとなって、実際にメイクをしながら学びました。メイクをすることによって印象ががらりと良くなり、参加者たちはとても驚いた様子でした。今後の社会生活にぜひ役立ててもらいたいです。

岡山県社会見学会

2月14日(木)岡山県の帰国者を対象に社会見学会を開催しました。午前中は神戸にある人と防災未来センターを見学しました。言葉の問題で地域の防災情報から取り残されがちな帰国者にとって、防災意識を新たにできる良い機会となりました。次に訪れた南京町では、中国の旧正月を祝う春節祭の真っ最中で、大変賑やかでした。中国・香港・台湾からの観光客も多く、懐かしい中国の雰囲気、帰国者たちの表情も明るくなりました。



学習発表会



3月4日(月)当センターで学習発表会を開催しました。大勢の帰国者が参加し、ステージでの発表が始まるまでの間は展示作品見学や講座体験を楽しみました。ポリマークレイ、芋版クラフト、革細工の体験コーナーは用意していた材料があつという間になくなるほど大盛況でした。グラウンドゴルフ、スポーツ吹き矢の体験コーナーでは楽しさ

はまり、何度もチャレンジする人がいました。ステージ発表では練習の成果を十分に出し切ることができ、今後の学習に向けての励みとなったようです。

高知県社会見学会

3月8日(金)高知県の帰国者を対象に社会見学会を開催し、徳島県でビッグひな祭り見学と、藍染め体験をしました。ちょうど中国の「女性の日」に当たり、ひな祭り見学は女性参加者に大好評でした。藍染め体験でも日本の伝統文化にふれ、みなさん満足されたようです。家庭の事情で中国に帰国していた参加者がこの会に間に合うように日本に戻ってきたという話を聞き、年に一回の交流会を心待ちにしてくれていることが伝わってきました。



広島県ボランティア研修会

3月8日(金)広島市立白島小学校6年生を対象にボランティア研修会を開催しました。前半はスライドを用いて残留孤児とその歴史的背景の説明、後半は帰国者による体験発表でした。発表後は帰国者に対し多くの質問がありました。子供たちの関心の高さがうかがえ、大変意義のある研修会となりました。

広島県健康増進交流会

3月18日(月)広島県の帰国者を対象に健康増進交流会を開催しました。当日は台風並みの春の嵐という悪天候にもかかわらず80人近い参加者が集まりました。高齢の帰国者が夢中になってボールを投げる姿は、張り切りすぎて怪我をしないかと心配なほどでした。70才を超える1世たちも、はつらつと楽しんでいました。



中四国地域の活動報告

①春節祝賀会・地域交流会

今年2月10日が旧正月の元旦にあたり、当センター職員も各地の「春節会」に招待いただきました。ただ会を楽しむだけでなく、準備や後片付けなど協力し合うことで、帰国者が地域住民との交流を深めている様子がとても印象的でした。広島市中国帰国者同心会、中国帰国者・広島友好会、NPO虹橋の会、岡山市中国帰国者支援グループ夢の花、東広島市、広島市中国帰国者友好協会の皆さん、ありがとうございました。



②阿品台コミュニティ女性部主催「地域交流会」

2月25日(月)廿日市市阿品台コミュニティ女性部主催の地域交流会が開催され、中国帰国者夫妻が料理講師として招かれました。普段は中国語ばかりで話している夫妻ですが、当日は料理上手なご主人が料理を担当し、社交的な奥さんがアシスタント兼通訳を担当しました。帰国者夫妻にとっては、地域の人と話をすることで、日本語の勉強にもなり、自信につながったようです。



投稿

岡山県倉敷市支援相談員の山縣武次郎さんからお手紙をいただきました。

「倉敷日本語教室」は、3月10日(日)、昨年に引き続き「春の集い」を行いました。午前中は、「茶の湯」体験。お昼は、「ひるぜんおこわ」と熱々の「水餃子」を食べながら自己紹介と交流。「総社日本語教室」の仲間も加わり盛りあがりました。参加者の中にこの日が71歳の誕生日を迎えた方、奇しくも二人も。祝福し記念品を贈りました。午後は、テナーサックスの演奏を聴いたり、エレキギターの伴奏で日本のうた、中国のうたを唱いました。締めは、ビンゴゲームでヒートアップ。市の援助もあって、今年は、昨年の倍の二十数人の参加があり、楽しい市民交流ができました。



4月・5月の予定

- | | | | | | |
|-------|-------------|-------|------|----------|-------|
| 4月23日 | 高齢者施設見学・交流会 | 〔岡山県〕 | 5月未定 | 企業見学・交流会 | 〔鳥取県〕 |
| 5月9日 | 相談説明会 | 〔広島県〕 | 5月未定 | 社会見学会 | 〔山口県〕 |

投稿募集

あなたも「七色花」に記事を載せてみませんか？みなさんからの投稿を募集しています。内容は日々の生活の出来事や中国での思い出、わたしこんな特技がありま〜す、など何でもかまいません。原稿は400字程度で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。みなさまからの記事をお待ちしています。

編集後記

「お彼岸」とは春分・秋分の日を中日とし、前後各3日を合わせた各7日間を指すそうです。日本では家族でお墓参りに出かけることが多いようです。彼岸のお供えにはかかせない「ぼたもち」と「おはぎ」は同じもので、炊いた米を軽くついてまとめ、分厚く餡で包んだ10cm弱の菓子として作られるのが一般的です。これらの名前は、彼岸の頃に咲く牡丹(春)と萩(秋)に由来すると言われています。私も数か月ぶりに帰省し、父の墓参りに行ってきました。(岡崎)

七色花

廿日市市异文化交流会

2月5日(周二)广岛县的归国者与廿日市市的男士烹饪俱乐部成员共同举办了异文化交流会。像这样一年一次的交流会,今年是第5次了。各位成员对烹饪的制作过程非常感兴趣,无论是任务的分担还是烹制的要点,都积极的向归国者进行请教。虽然相互之间还有不少语言的障碍,但是边说边夹杂着手势,交流的也十分愉悦。



就职讲座

2月13日(周三)以归国者2·3代为对象举办了就职讲座。讲座的前半部分介绍了履历书的书写方法和接受面试时如何给对方留下好印象等内容,参加者一起学习找工作时或者是在工作单位适宜的仪容和举止。后半部分讲座介绍了面试或在工作单位时相宜的化妆法。由参加者为演示模特儿,一边为其上妆一边介绍了化妆的基础知识。通过化妆而提高外观形象给其他参加者留下了深刻的印象。希望通过这次讲座为大家在今后的就职活动中起一臂之力。



冈山县社会观摩会

2月14日(周四)以冈山县归国者为对象举办了社会观摩会。这次一起参观学习了神户的「人与防灾未来中心」。由于语言问题,对不能充分掌握地区的防灾情报的归国者而言这是一次很好的学习机会。之后,还到访了南京町,时逢春节期间,中华街上一片节庆气氛,四处熙熙攘攘。还遇到不少来自中国大陆·香港·台湾的观光客人,仿佛回到中国一样,这一天大家每个人气色都显得十分明快。



学习发表会

3月4日(周一)在本中心举办了学习发表会。当天有不少的归国者来参加,在舞台发表之前大家参观了各种作品展示和体验讲座。其间,事前准备好的树脂粘土、红薯版画、手工皮革的材料不长时间就分发完毕。迷你高尔夫球、吹箭的体验角,不少归国者反复多次的进行了挑战。舞台发表也充分展示了各位学员平时的努力成果,希望大家来年更上一层楼。



高知县社会观摩会

3月8日(周五)以高知县归国者为对象举办了社会观摩会,在德岛县和大家不仅参观了大型女儿节偶人展,还体验了蓝染。当天正好是「3·8 妇女节」,偶人展的观赏获得各位女士的好评。通过体验蓝染又使大家有了学习日本传统文化的机会,一天的活动令参加者十分满意。其间还有为了参加中心的活动急急忙忙从中国赶回日本的归国者,由此可见大家对中心所举办交流会之期盼。



广岛县志愿者研修会

3月8日(周五)以广岛市立白岛小学6年级学生为对象举办了支援者研修会。首先利用放映设施进行了残留遗孤以及历史背景的说明,之后,由归国者发表了自己的经历体验谈。会上,孩子们向归国者提出了不少问题,说明了孩子们对这段历史的关切度之高。

广岛县促进健康交流会

3月18日(周一)以广岛县归国者为对象举办了促进健康交流会。当天的所谓春风有如台风一般席卷广岛,即使暴雨狂风也无法阻止将近80名的参加者赶来参赛。高龄归国者全力以赴的投球姿态,既令人感服,又怕大家过于专注让人感到担心。年过70的归国者也玩的十分尽兴,可以说是一场愉快的比赛。



中四国地区活动汇报

①春节联欢会·地区交流会



2月10日是农历的正月初一,为此中心受到了来自方方面面的邀请,这前后中心职员赶去参加了各处的「春节联欢会」。给人留下深刻印象的是,无论是事前准备还是会后整理,在归国者和地区居民的相互协助下,整个会进行的十分顺利,并且更进一步加深了彼此间的交流。在此,向广岛市中国归国者同心会、中国归国者·广岛友好会、NPO 虹桥会、冈山市中国归国者支援小组梦之花、东广岛市、广岛市中国归国者友好协会 表示感谢!

②阿品台地区社团妇女部主办的「地区交流会」

2月25日(周一)由廿日市市阿品台地区社团妇女部主办的地区交流会上,专门邀请了中国归国者夫妻为烹饪老师教大家做中国菜。平时在家里说汉语的两夫妻,当天擅长做菜的丈夫负责烹饪,善于社交的妻子则担任帮手及翻译。通过这次活动,既增加了与地区居民的交往,又增强了日语的自信。



投稿

下面的投稿来自冈山县仓敷市支援相談员的山县武次郎先生。

3月10日(周日),「仓敷日语教室」接着去年的惯例举办了「春之聚」。上午和大家体验了「茶道」,中午一边品尝着「蒜山糯米饭」和热腾腾的「水饺」,一边进行了自我介绍和交流。加上「总社日语教室」的各位朋友后,整个会场变得更加热闹。当天与会者中刚好有人过71岁的生日,更巧的是居然有2位。不仅进行了祝贺还向2位赠送了礼物。下午,既欣赏了萨克斯演奏,又听了在电子吉他伴奏下的日本歌谣和中国歌谣演唱。最后,和大家一起进行了数字排点游戏,通过市里的支援,今年的参加者将近20名,几乎是去年的2倍,可以说是一次愉快的市民交流活动。



4月·5月预定

4月 23日	高龄者设施观摩·交流会	〔冈山县〕	5月未定	企业观摩·交流会	〔鸟取县〕
5月 9日	咨询说明会	〔广岛县〕	5月未定	社会观摩会	〔山口县〕

征集投稿

您不希望把自己的文章登载在「七色花」上吗?在此向大家征集稿件,内容不限,可以是日常生活琐事,也可以是追忆往昔,或者是介绍专项所长。原稿的字数限400字以内,投稿可直接送到中心,通过邮寄、传真亦可。

期盼大家积极踊跃的投稿!

编辑后记

「彼岸」是指春分、秋分及其前后3天计7天这段时间。日本人常在这期间去扫墓。「彼岸」时的供品中不可缺少的是「牡丹饼」或者叫做「萩饼」,两者其实是同一东西,只是叫法不同。通常的做法是,将蒸好的米饭稍微捣碎,然后用豆沙厚厚的包住,包好后大约10cm大。这点心名字的由来据说是,「彼岸」时节,春分前后正值牡丹盛开,秋分则是萩草之季。我最近也是时隔好几个月了才返故里,为父亲扫了墓。(冈崎)